

平成16年9月中間期 会社説明資料

平成16年11月



(店頭登録・2906)

平成16年9月現在

商号 株式会社ホッコク

本社 東京都中央区日本橋人形町三丁目11番10号

代表者 代表取締役社長 青池 保

設立 創業・昭和36年5月 設立・昭和43年4月

資本金 1,432百万円

売上高 3,152百万円

従業員 79名（その他、臨時従業員65名）

昭和36年5月	青池保（現社長）墨田区八広に餃子飯店「つたや」を開店。
昭和42年6月	青池社長ラーメン店にフランチャイズシステムを導入し、札幌ラーメン「どさん子」チェーンの本部を設立。墨田区にどさん子両国店を開店しチェーン展開を開始。
昭和43年4月	資本金500万円にて、墨田区八広に北国商事株式会社を設立。
昭和44年12月	葛飾区柴又に本社を移転し東京工場を開設。
昭和46年6月	札幌支社を開設。10月千葉工場（冷凍餃子）を建設。12月札幌ラーメン「どさん子」チェーン加盟店500店舗達成。
昭和52年2月	札幌ラーメン「どさん子」チェーン加盟店1,000店舗達成。
昭和56年11月	千葉県船橋市高瀬町（京浜コンビナート内）に冷凍食品工場を開設。
昭和57年2月	日本フランチャイズチェーン協会より日本フランチャイズチェーン協会会長賞を受賞。
昭和60年6月	株式会社味の花の株式を取得し子会社とする。
平成1年4月	「株式会社ホッコク」に商号を変更。
平成2年2月	日本証券業協会の店頭市場に株式を公開、資本金を14億3,200万円に増資。
平成6年4月	東京銀座4丁目にDO-SANKO銀座店（直営店）をオープン。
平成10年4月	ホッコク創立30周年。
平成11年5月	東京銀座4丁目のDO-SANKO銀座を業態転向し紅虎餃子房銀座店（直営店）をオープン。
平成12年12月	東京新宿西口に紅虎餃子房新宿西口店（直営店）をオープン。
平成16年9月	東京都大手町にらぁめん麦の家（直営店）をオープン。

当社の企業集団は、当社と子会社1社及び関連会社1社で構成され、わが国独特の大衆食品であるラーメンを主軸に餃子その他の食材を「どさん子」等の商標のもとに展開するフランチャイズ・チェーン店（FC）に販売するほか、一般消費者に対しての宅配便を利用した産地直送麺（美食王国）の販売、飲食店の直営及び不動産の賃貸を主な事業内容としております。

平成16年9月中間期 決算概要



当中間期のわが国経済は、輸出と設備投資が主導して着実に回復してきました。個人消費も家電販売等、一部に明るさがでて回復傾向にあります。外食産業につきましては、個人消費の回復はまだ十分でなく、今夏の猛暑、台風とアテネオリンピックテレビ観戦の影響もあって、特に既存店が厳しい状況にあります。

このような状況のもとで、当社は9月上旬、現在志向しているフリーブランドのパイロットショップ「らぁめん麦の家」大手町店を東京都千代田区大手町に出店、9月中旬、運営を子会社株式会社味の花が担当してパイロットショップらーめん「麺粥屋」成田空港店を新東京国際空港に出店いたしました。また、前期に続き不採算店の撤退を進め、6月「倉賀野店」7月「小伝馬町店」を閉店いたしました。

「どさん子」経営者に対して「みそ膳」ほか当社の提案するフリーブランドへの転換を推奨し、「どさん子」の変革、再生につながるよう各地で懇談会を開催するのをはじめ、各店1店1店の経営者と当社社長との個別相談を行い、その店舗に最適の業態を見出し提案することを行っております。

製造部門においては品質管理の徹底と多品種少量生産の生産体制構築に注力しました。

<トピックス>

平成16年9月 東京都千代田区大手町にらぁめん麦の家（直営店）オープン

平成16年9月 成田新東京国際空港に麺粥屋（株味の花運営）オープン

中間損益計算書（連結）

株式会社ホック

（単位：百万円）	16年9月中間期	15年9月中間期	増減額	備考
売上高	1,650	1,841	-191	直営店2店及び子会社直営店1店閉店による減少
売上原価	792	866	-73	
販売費及び一般管理費	781	853	-72	
営業利益	76	121	-45	
営業外収益	6	5	1	
営業外費用	10	13	-2	
経常利益	71	114	-42	
特別利益	0	-	0	
特別損失	15	34	-18	
中間当期純利益	22	39	-17	

中間貸借対照表（連結）

株式会社ホック

（単位：百万円）

	16年9月中間期	15年9月中間期	増減額	備考
流動資産	995	1,235	-240	新たな借入せず自前資金で運営
固定資産	7,591	7,866	-274	投資有価証券の売却による減少
資産合計	8,587	9,102	-515	

流動負債	1,007	1,203	-195	短期借入金の返済が進んだことによる減少
固定負債	533	816	-283	長期借入金の返済が進んだことによる減少
負債合計	1,541	2,019	-478	

資本金	14,320	14,320	0	
資本剰余金	1,292	1,292	0	
利益剰余金	4,421	4,421	0	
資本合計	7,045	7,082	-36	自社株買いによる減少

中間キャッシュ・フロー計算書（連結）

株式会社ホック

（単位：百万円）	16年9月中間期	15年9月中間期	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	74	236	162	仕入債務の減少。法人税等支払額の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	37	53	15	直営店出店に伴う有形固定資産取得の支出等による増加
財務活動による キャッシュ・フロー	161	161	0	
現金及び現金同等物の 増加額	124	21	145	
現金及び現金同等物の 期首残高	790	843	53	
現金及び現金同等物の 期末残高	666	865	199	新たな借入をせず自前資金での運用による減少

セグメント別売上高

(単位：百万円)

セグメント	16年9月中間期		15年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食品関連	1,494	90.5%	1,689	91.7%	-195	-11.5%
不動産関連	155	9.4%	152	8.3%	3	2.0%
合計	1,650	100.0%	1,841	100.0%	-191	-10.4%

食品関連

当社が製造しております麺、餃子、調味料の販売はFC加盟店の減少に伴い減少。直営店の閉店に伴い売上高減少。

不動産関連

当社及び株味の花が所有する不動産を賃貸。

平成17年3月期 業績予想



平成17年3月期 業績予想（連結）

株式会社ホック

（単位：百万円）	平成17年3月期	平成16年3月期	増減	備考
売上高	3,340	3,681	-341	下期に直営店の閉店による減少
経常利益	181	276	-95	
当期純利益	52	96	-44	店舗閉店に伴う損失処理のため減少
EPS（円）	4.73	8.56	-3.83	
ROE	0.74%	1.36%	-0.62	

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

経営方針

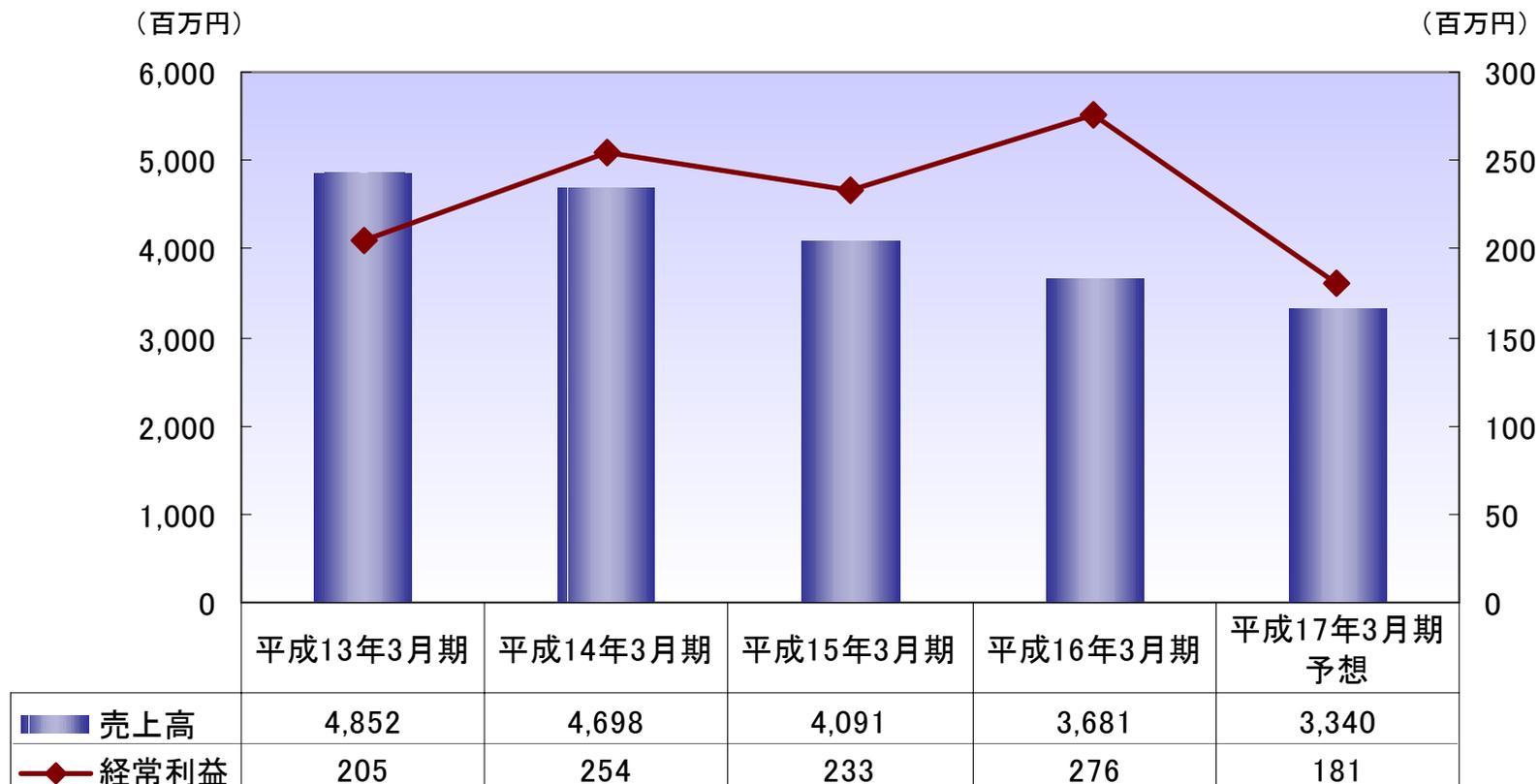
当社創業以来の「食を通じて人々の暮らしの中で、愛され、お役に立つ」という経営理念に基づき、基幹事業「どさん子」の安定的発展を図りつつ、食の分野において、直営ならびにFC事業に新業態を確立して、安定的成長を続けて行くことを経営方針としております。

今期の取り組み

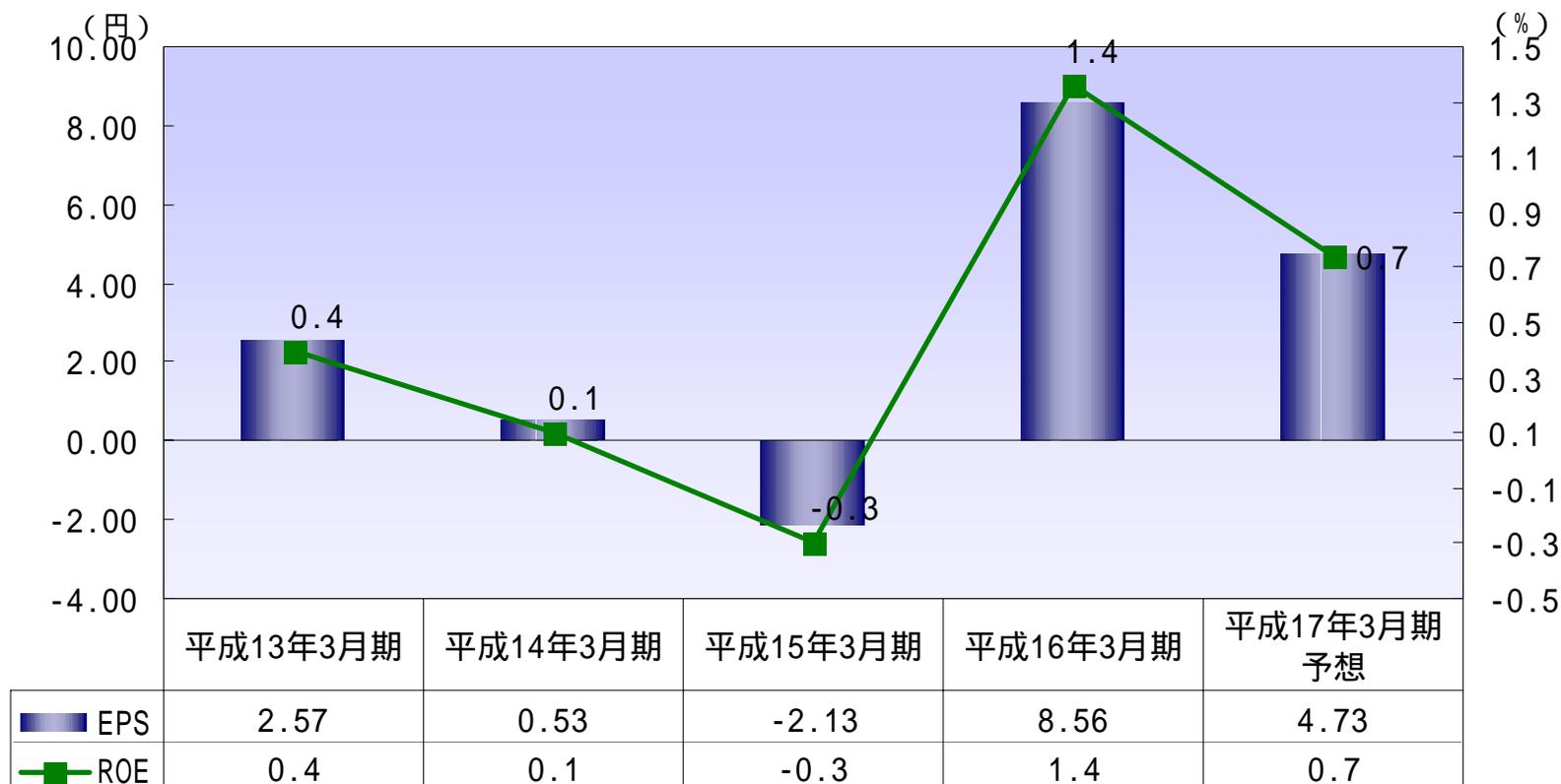
売上の増強が急務であり、新業態を確立して、直営繁盛店を作り上げ加盟店の増加につなげることが課題であります。そのため、フリーブランド新事業の確立、収益力の向上、組織の強化及び人材の育成、コンサルティング営業があげられます。

「みそ膳」や「らぁめん麦の家」等の新規ブランドを確立し直営繁盛店を作り上げること。フリーブランド事業及びコンサルティング営業については、「どさん子」経営者個々に対し個別にコンサルティングを行い、抽出した問題点について解答を提示、当社開発のフリーブランド事業をはじめ、個店化の要望あるものについてはその店独自の業態等、個々の店舗に最適の業態を提案して、業態転換を推進してまいります。

売上高・経常利益の推移（連結）



EPS・ROEの推移（連結）



EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率



総務部

TEL : 03-5695-2005

E-mail : office@hokkoku.net